

本学のより良い教育を考えるために

<第9回 桜美林大学 大学教育開発センター 公開シンポジウム>

アクティブラーニングの魅力と難しさ

—協同学習の視点から—

講師：関田 一彦

創価大学 教育・学習支援センター長／教育学部教授

2014年9月16日（火） 15：00～17：00

於 桜美林大学 町田キャンパス 明々館4階 A408教室

数年来、アクティブラーニングの導入が教育改善の手法として強調されています。15年ほど前、私はActive Learning in College Classroomという本を翻訳しましたが、その時は学生参加型大学授業と訳しました。主体的あるいは能動的という言葉も浮かびましたが、あえて参加型という言葉にこだわりました。参加の余地を与えることで、学生は能動的に動き、主体的に学ぶと考えたからです。授業中の機会設定や課題設定がうまくいけば、学生はアクティブに学ぶと思ったのです。

理屈ではそうなのですが、実際は簡単ではありません。私が感じてきた難しさと、その対処法について少しお話ししたいと思います。日本には何百もの大学があり、そこで学ぶ学生は真に多様です。教育方法に唯一絶対はありません。それでも、参加者の皆様がアクティブラーニングを試みるとき、何かの参考になれば幸いです。



関田先生プロフィール

せきた かずひこ 創価大学教育・学習支援センター長・教育学部教授。日本協同教育学会（会長）・初年次教育学会（理事）。

主な著書

- 『学生参加型の大学授業』（玉川大学出版部）
- 『大学授業を活性化する方法』（玉川大学出版部）
- 『大学教育アセスメント入門』（ナカニシヤ出版）

プログラム

- | | |
|-------------|---|
| 15：00～15：05 | 開会挨拶：山本眞一（大学教育開発センター長） |
| 15：05～16：15 | 講演「アクティブラーニングの魅力と難しさー協同学習の視点からー」
関田 一彦（創価大学 教育・学習支援センター長／教育学部教授） |
| 16：15～16：55 | 質疑応答および全体討論 |
| 16：55 | 閉会挨拶：山本眞一（大学教育開発センター長） |

シンポジウム終了後、ファカルティークラブにて茶話を予定しています。是非ご参加ください。

主催：桜美林大学 大学教育開発センター

参加希望の方は、9月9日（火）までに、

本学Webサイト（http://www.obirin.ac.jp/topics/event/year_2014/fdcenter.html）からお申し込み下さい（トップページの「最新情報一覧」→「イベント情報」からも入れます）。

問合せ：桜美林大学 大学教育開発センター TEL:042-797-6724（内線3250）

E-mail：fdcenter@obirin.ac.jp 担当・鳥居